

木

KINO PRESS
NO.39

野

京都精華大学
KYOTO
SEIKA
UNIVERSITY

通

木野通信 第39号 2004年11月20日発行
京都精華大学企画室
〒606-8588
京都市左京区岩倉木野町137
TEL 075-702-5201

信

GPに選ばれた京都精華大学

学長◎中尾ハジメ NAKAO Hajime

日本の大学がおかれている状況は、わずか十数年まえにはほとんどの人が現実感をもって予想することもなかったほど、おそろしい勢いで変化しつつあります。急激な状況変化とは、一方では、年々縮小する大学進学者層をめぐっての大学間生き残り競争の激化であることは言うまでもありません。他方では、学生の「学力低下」問題が強く意識され、大学の社会的存在意義がますます問われるということが現実化してきました。それゆえ、ここには、大学の改革、大学教育の改革という、新たな、多元的な競争の場が出現してきました。その教育の内実や成果を問うことがほとんどなかった、日本的な学歴社会の安易さは、消滅するしかありません。

しかも、この教育改革の競争に参入することなく、学生数を確保するという経営的競争に生き残る道筋はほとんどありえません。私たちの京都精華大学にとっては、大学教育の再生・改革という、その本来の任務を前面に押しだしていくことのできる局面に、いよいよ入ったと言わなければなりません。

現実の教育改革競争のひとつに、文部科学省が昨年度から実施している「特色ある大学教育支援プログラム」という事業があります。全国から優れた教育事例（GP）を厳選するものですが、今年度、京都精華大学の取組が選ばれました。人文学部環境社会学科の学生が学外の自治体や高等学校などで環境マネジメントシステムの構築に直接責任をもって関わるといったことが、その内容の中心にあります。もちろん、芸術学部を含め学内全体での環境マネジメントシステム（ISO14001）の運営がその基盤となっていることは言うまでもありません。また、人文学部でつくりだした、半年間にわたり他の科目履修はせずに、ひとつのテーマで徹底的に学ぶ「インディペンデント・スタディー」（調査演習・実務演習など）という教育方法の成果でもあります。

今回のGP選定は京都精華大学の実力を示す一端でしかありませんが、急激に現実化した改革競争に確かな一歩を踏み入れることができ、注目を集めることができたことを率直に喜びたいと思います。



それは、なによりも、この大学が小さな短期大学として誕生したときから目指してきたことの一側面であるはずだからです。

37年まえの開学当時、多くの日本の大学は大学教育の実質を失いつつありました。「マスプロ（大量生産）大学」といわれ、また短期大学は「花嫁大学」といわれる時代でした。そのような大学の状況を批判し、本来の大学教育をとりもどすべく、この大学は創られしました。「今日の『失われた大学教育』を、京都の地において回復することに、われわれは使命を感じている。この新しい大学創造の仕事を分担しようとする学生諸君！ 諸君の参加をわれわれは待っている」——これは、初年度の大学案内の巻頭に岡本清一初代学長が記した言葉です。

大学は現実社会のなかにしか存在しませんが、その社会がようやく「失われた大学教育」の回復を現実にも求めはじめ、教育改革の先導者としての京都精華大学の真価が問われる時代になったのだと思います。

京都国際マンガミュージアム(仮称)開設を計画

京都精華大学と京都市がマンガ研究の拠点を設立

日本のマンガやアニメが世界的に大きな注目を集め、現代の重要な表現の一つとして認知されつつある中、京都精華大学は京都市と、マンガ・アニメ文化の研究施設「京都国際マンガミュージアム(仮称)」の設置構想を発表した。

マンガ資料の所蔵と研究施設を確保したい本学と、中心市街地に生涯学習や観光・産業振興の拠点設置を考える京都市との意向が一致してミュージアムの設置を構想。建物は1995年に廃校となった龍池小学校(中京区烏丸御池交差点近く)の既存の校舎を改修して利用し、2006年秋の開

館を目指す。このミュージアムが完成すると、生涯学習・文化・観光・産業振興など幅広い分野で限らない可能性を秘める「マンガ」の、日本初の総合的収集・研究機関となる。

京都国際マンガミュージアムの機能は、「図書館・博物館機能」「生涯学習機能」「研究機能」「人材育成・新産業創出機能」の4つの機能を備えることとしている。200

市街地にアート複合スペース「shin-bi」開設

卒業生を含めた大学の資源を社会で展開

京都市下京区四条烏丸に12月4日オープン予定の商業ビル「COCON(ここん)烏丸」に、京都精華大学の学外アートスペース「shin-bi(しんび)」が開設されることとなった。

「shin-bi」は、ショップスペース、ギャラリースペース、ワークショップスペース「Studio KINO」で構成され、映像メディアア研究所のエクステンションオフィスも併設される。

アートグッズや作品を販売するショップスペースでは、作家活動を行っている本学卒業生の作品を積極的に展開し、ギャラリースペースでもプロ作家から卒業生・学生優秀作品の展示を取り上げる予定としている。ワークショップスペースでは講演会や

6年の開設時には、図書館・博物館機能を充実させ、世界各国の単行本や雑誌など20万点を収蔵・展示するほか、資料のデータベース化、マンガ文化史や著作権の研究をすすめる。また、生涯学習機能として、マンガをテーマにした市民講座やワークショップを開く予定をしている。ほか、将来的には、マンガを通じた国際交流を図るためアジア各国のマンガ家が集う国際イベント

公開講座、体験講習を実施、映像メディアア研究所エクステンションオフィスは映像作品を制作するプロダクションとして工房機能も持つ制作室とする予定だ。

「shin-bi」は、本学が教育機関として携わってきた多くの要素を「商品やサービス」として多くの人に提供することを目指していく。

◆「shin-bi」販売用商品の募集◆
Studioでは、アートやデザインを強く意識した、美学やヴィジョンのあるアーティストグッズや本、映像作品、テキスト、工芸などを商品として取り扱っていく予定です。つきましては、卒業生のみならず商品として販売する作品を募集します。アート・デザイン指向の強いものであれば、1点もの、マルチプル、大量生産

「アジアMANGAサミット」の誘致を図る。マンガ・アニメを収集・研究する日本初の総合機関となるミュージアムは新しい観光スポットとしても期待されており、将来的には、マンガ情報センター機能や海外研究機関との学術交流の場を整備し、キャリアデザイナーといった人材育成や産学連携による新産業の創出にも取り組みたいと考えている。

品にかかわらずジャンルを問わず歓迎します。過去や未来を通観する視点に立つて作品を見た際に、その作品の中に新たなヴィジョンや、美学、オリジナリティの提示がなされているか、あるいはそのポテンシャルが垣間見えるものを優先的に採用します。

- 応募方法
タイトル、寸法、希望価格など作品の詳細を明記したもの(書式自由)に、作品の写真を添付してご郵送ください。
○応募書類送先・問合せ先
〒606-8588
京都市左京区岩倉木野町137
京都精華大学 企画室
TEL:075-70215201

障がい学生支援室が開設

障がいのある学生とともに環境を整備

障がいのある学生に関する総合的な支援部門として、障がい学生支援室が9月に本学本館1階に開設された。これまで各課単位で行ってきた障がい学生への支援を見直し、総合窓口として物理的・制度的に学生生活全般において、本学にて実現可能な環境整備のための支援を進めていく予定である。

障がい学生支援室は、障がいのある学生のためにというだけでなく、障がいのある学生と学生と共にという考えのもとで何ができるのかを考え、模索していくこととし、本学における障がい者理解の認識を深めることも目的の一つと考えている。

現在は、聴覚障がいのある学生のために講義を要約筆記する「ノートテイク」学生の募集・講習会などのコーディネート、授業で使用される教材用ビデオの字幕の作成、

視覚障がいのある学生のための授業資料の点字化、対面朗読、書類の代筆等の支援を行っている。

今後は、授業支援はもちろん、施設・設備などの改善、学習・生活上の大学としての支援、障がいのある学生を支援する者の募集・養成、他大学・他機関との連携推進など、当事者である障がいのある学生の意見を配慮しながら、様々な環境整備をおこなっていく予定である。



▶本館1階学生課の隣に開設

ヘルシンキ芸術デザイン大学との一般協定が締結

交換留学協定校が15校に

2004年10月22日、本学においてフィンランドのヘルシンキにあるヘルシンキ芸術デザイン大学との国際交流協定調印式が行われ、協定が結ばれた。

ヘルシンキ芸術デザイン大学は、5つの学部と17の分野からなるスカンジナビア最大の芸術大学。ヨーロッパを中心とした国際的な美術大学連合「CUMULUS」(キュムラス)の拠点であり、北欧を中心にデザ

インの発信基地となっている。

今回の調印式にあわせて、ヘルシンキ芸術デザイン大学からは、ユリヨ・ソタマ議長が来学した。この協定締結により、交換留学を始めとした学術交流が行われる予定となっている。

本学の協定校はこれで15校となり、学生がよりよい経験を得られるように、国際的な交流網の強化が進められている。



▲調印式の様子

PR映像制作中

映像専攻学生へ委託

映画やドラマなどのロケ地を勧誘する事業「フィルムコミッション」が、いま全国各地で盛んに行われている。京都府舞鶴市でも、イメージアップや観光誘客を目的に、市民参加による地域の活性化を目指す組織として「舞鶴フィルムコミッション」が2002年に設立されている。

このたび、ロケ誘致競争に役立てる目的で、舞鶴市内の候補地をわかりやすく紹介するPR用映像の制作が企画され、舞鶴フィルムコミッションより、その制作が本学に委託された。夏休みを使って、芸術学部デザイン学科映像専攻4年生5名が、赤煉瓦倉庫、商店街、農漁村の風景などを撮影。現在、動画映像に編集中である。12月には約30分のPR映像に加え、ホームページ上でも約30シーンが公開される予定だ。

中国に講師を派遣

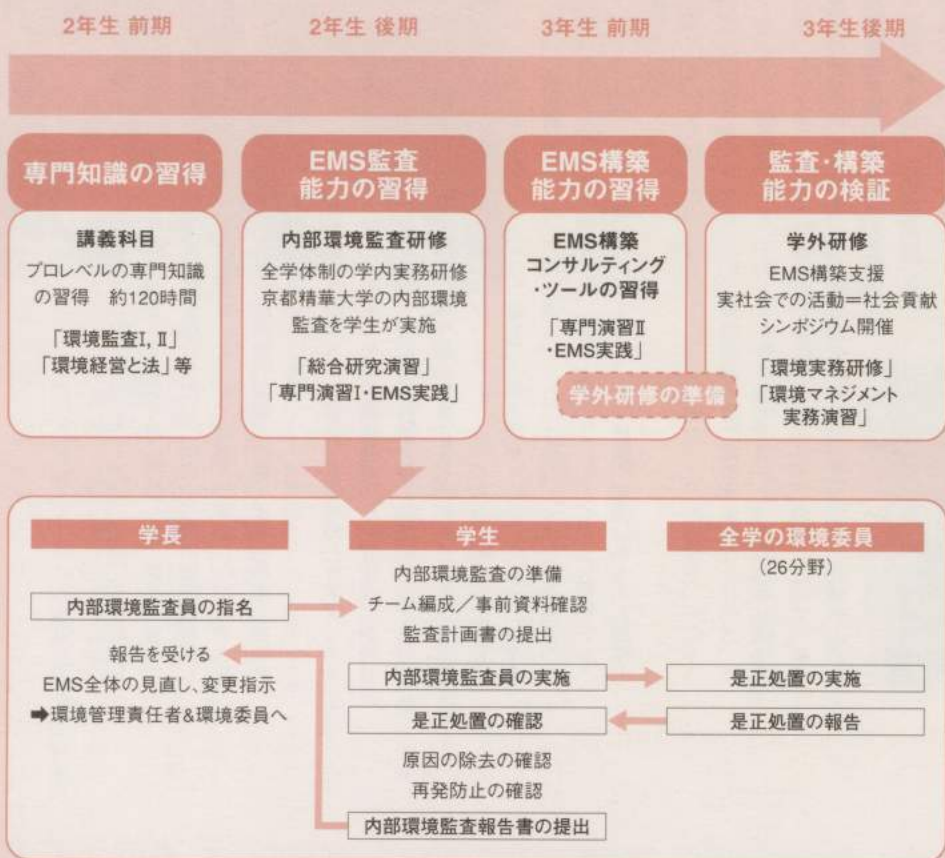
上海電機大学と学術交流協定

中国の上海電機大学と京都精華大学は、2003年11月に協定を結び、上海電機大学におけるマンガ専攻の新規設立にあたって共同でカリキュラムを作成。8月には上海市に認可され、9月にマンガを学ぶコース「動漫画設計専攻」が開設された。本学は学術資源の提供、マンガ学科の教員を中国へ派遣することや、日本での中国の学生との学習交流に協力すること等を約束した。すでに9月中旬に本学から教員2名を派遣し、3週間、学生に授業を行った。講義内容は学生に大変評判が良く、今後も継続的に派遣を行っていく予定だ。また、12月にはこのプロジェクトを発展・充実させるための委員会を設立する予定である。



▶上海電機大学。「動漫画設計専攻」の校舎は現在新たに建設中

EMSを活用した学習プログラム段階表



▶2004年度「内部環境監査」より



このような学習の過程が、問題解決能力と専門的知識をもち、主体的に学ぶことのできる学生を育てると同時に、実質的な社会貢献にもなっている。

環境マネジメントシステムを活用した 自立的な学生の育成課程

今回G.P.に採択された、環境社会科学科の教育プロジェクトでは、学内外における斬新かつ徹底した体験学習、その実践を通して学ぶ学生の成長が、まず注目を集めた。

京都精華大学は、全キャンパス、全教職員、学生全員を対象にした「環境マネジメントシステム(EMS)」を構築し、2000年3月に国際規格ISO14001の認証を取得した。全学が運営任務を負うEMS構築は大学間でも先駆的な事例として知られる。G.P.に採択された教育プロジェクトでは、このEMSを運用しているキャンパス全体が体験学習の場として最大限に活用され、プロジェクトの支柱となっている。

社会貢献に直結する 実践学習の内容

環境社会科学科の環境経営コースでは、EMS構築や環境監査を行う能力を修得するため、専門知識の講義・学内での内部環境監査実施・学外での体験(社会貢献)を段階的に配置している。

とりわけ2年生段階では学生が監査員となって、ISO14001認証を受けた大学の環境マネジメントシステムを点検し、厳格な監査を行うが、これは他に類を見ない体験学習の機会となっている。

●ISO14001

ISO(国際標準化機構)が設ける、環境マネジメントシステムの国際規格。規格に適合する環境マネジメントシステムは、認証を受けることができる。環境マネジメントシステムとは、組織・団体が環境に配慮した行動選択をするためのルール体系。ISO14001認証取得後は、毎年の維持審査があり、3年ごとに更新審査を受けなければならない。2000年に認証取得した京都精華大学は今年で5年目に入っている。

※環境マネジメントシステム(Environmental Management System):組織が環境方針を計画→実施し→達成→点検→維持する

も、めざましい実績をあげており、城陽市役所(2002年度)、京都府立八幡高校(2003年度)はISO14001認証を取得している。本年度も、京都府立高校6校、城陽市役所、大阪府吹田南下水処理場、リサイクルセンターなどで学生は構築支援を行っている。すでに2005年度の予約も受けている。

SPECIAL EDITION

文部科学省GPに採択 画期的な教育方法に評価

京都精華大学の教育取組が、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」で、採択率10.8%の難関を突破し、大学教育の模範として選ばれた。

今回高く評価されたのは、環境マネジメントシステム構築の支援を通じて学生が主体的に学び、同時に実質的な社会貢献をすることだ。



文部科学省による すぐれた教育取組を選定するプログラム

全国国公私立大学・短大より
534件の応募

「特色ある大学教育支援プログラム」は、文部科学省が、すぐれた教育事例(G.P.:グッド・プラクティス)を選定・支援し、広く社会に情報提供を行うという事業。高等教育の向上をめざし、組織的な教育改革を奨励しようとする2003年度から始められている。募集テーマは、1 総合的取組 2 教育課程の工夫改善 3 教育方法の工夫改善 4 学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善 5 大学の地域・社会との連携の工夫改善の5分野に分けられ、全国の大学・短大から応募申請のあった教育の実践例が「教育の効果を示す根拠は十分か」「他大学・短大の参考になるか」などの観点で審査される。

注目をあつめた体験学習の 内容と実質的な社会貢献

本学は「自由自治、国際主義、人間形成」を掲げて開学して以来、時代に先んじた斬新で内実のある大学教育を目指しており、開学以来維持されている教職員と学生との密度の高い関係性によって、キャンパス全体を学びの場ととらえた教育活動を続けてきた。今回のG.P.選定は、ISO14001認証取得キャンパスを活用した教育方法の工夫、学外での高密度の体験学習と社会貢献の活動とが、高い評価を受けた。

先日「特色ある大学教育支援プログラム実施委員会」より発表された採択理由には、左記のように述べられている。

2004年度 「特色ある大学教育支援プログラム」

京都精華大学の取組の採択理由

この取組は、京都精華大学の教育目標である「自立した人間の形成」を達成するために、体験主義と学際主義の教育を重視し、既に4年以上にわたって組織的に実施してきた環境マネジメントシステム教育の展開であり、内部環境監査と地域社会貢献としての学外実習に示されるように大きな成果を上げています。現在、大学には、グローバルな環境問題への対応や地域問題の解決が求められており、この取組はこうした社会の要請に十分応える優れた取組であると認められます。とくに、学生が学内だけでなく、学外でも社会的に評価できる水準での実習を行っており、この取組は他の大学、短期大学の参考となり得る優れた事例であると言えます。

活躍する卒業生

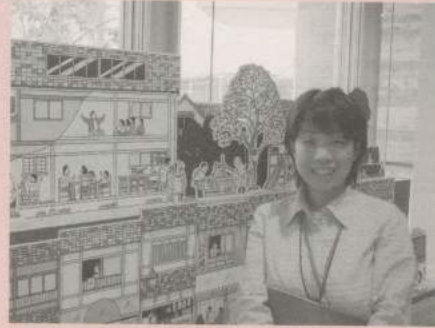
京都市環境保全活動センター（通称京エコロジーセンター）は、環境にやさしい活動の輪を広げる拠点施設として、京都市が2002年4月に開設した。映像や展示で地球環境に起こる問題や京都での環境活動を紹介したり、厨房や工場の施設を利用した環境教室などを実施している。体験型展示によって、来館者が体感しながら学べるのが特徴のひとつで、向井さんはそれら展示物の開発、改善、またその展示物を活用した学習プログラムの企画、実施を担当している。

向井さんが環境問題に関心を持ち始めたのは大学在学中。2年生のときアメリカでホームステイをした際、アメリカ先住民の世界を知り興味を持った。3年生のアメリカでのフィールドワークではプログラム終了後に全米各地をひとりで回り、アメリカンインディアン文化や現状を通して、立場や視点によって社会の見え方が大きく違うことを学んだ。精華の先生との出会い、フィールドワークでの多くの人々との出会いの重なりが、向井さんの関心を「環境」として「環境教育」に向けていった。卒業後、オハイオ州の野外教育センターでインターンとして1年間、小学生の教育クラスを担当。環境教育の手法を学び、帰国後も、京都市青少年活動センターの職員として、自然体験プログラム等の企画・運営を行ってきた。その経験や知識はもちろん現在の仕事にも活かされている。

「この仕事はいろんな人々たちとのコラボレーション。何を、どんな展示で、どのように、来館する人に伝えることができるか。環境問題の専門家や展示制作会社の方、京エコロジーセンターに登録されている約100名の市民ボランティアの方々と試行錯誤しながら作っています。努力・時間はかかるけれど、アイデアが形になって、それがいろんな人の学びにつながっていくと思うとやりがいは大いいです」向井さん自身が環境教育に興味を持ったのが、人との出会いがきっかけであり、この仕事は「きっかけを作ること。だ」と言う。

「環境教育と言っても、人の生活スタイルや考え方をすぐに変えたいとも変えられないとも思いません。けれど、当センターで見たり聞いたり触れたりして感じたことを持ち帰ってもらい、家庭で思い出したり話に出たりすることで、行動するときには人の少し環境を気にする、そんなきっかけになればいいと思います。地域と密着した活動の企画アイデアがまだまだあるという向井さんの今後にも期待したい。

来館者が実際に触れて学ぶことができる展示物の前。



向井理子さん(旧姓:足立) 人文学部人文学科卒業 (91L007)

三木尚志さん

芸術学部造形学科版画専攻 (95H032)



約50名の従業員が働く工場。大きな紙を扱うため共同作業が多い。

三木さんの勤務する「岩野平三郎製紙所」は、日本最大の和紙の産地、福井県越前でも最大級の手漉き和紙工場だ。初代岩野平三郎氏は越前一の名工といわれ、横山大綱をはじめとする近代日本画家に和紙を供給していた。現在も工場はその技術を受け継ぎ、平山郁夫など著名な日本画家の注文を受ける。卓越した技術を保持しながら平安時代からの製紙技術を守り続けている。

大学時代、版画専攻だった三木さんは、木版画を学ぶうちに特に紙に対して強い興味を持ち、紙の材料であるパルプを用いて作品を作ることになった。紙に携わる仕事、それも原料や素材そのものに触れることのできる仕事がないかと思い、現在の製紙所へ就職、紙漉き職人となって6年目になるが仕事はなかなかハードだと言う。

和紙を作る作業工程では共同作業が多い。大学時代、少人数のクラスで協力しながら授業や制作に打ち込んでいた。皆がそれぞれ作りたいもの、やりたいことがあり、それがお互いを刺激しあっていた。要求されるレベルはもちろん違うが、今もその延長線上にいろいろな感覚だと言う。

「手作業や力仕事が多く、また求められることも細かいので、肉体的にも精神的にもハードですが、作家さんから注文された紙を漉き、満足してもらい、作品に使ってもらえることの喜びに比べると当然の大変さだと思います。74歳で現役で働いている方と一緒に仕事をしているので、自分自身が紙漉きでどこまでたどり着けるのか試してみたいと思っています。」

活躍する卒業生

「一日講師プログラム」の講師を募集

公開講座、一日講師プログラム「市井人の『わざ』と『こころ』」では現在、講師を募集している。

このプログラムは、大学における学術的・芸術的な知識・理論・技術とは別に、市井で長年にわたって継承、創造されてきた知識・智慧・技術・志に触れる事のできる場所を作り出すことを目的とし、講義やワークショップを開催してきた。事務局は、ユニークな知識を発表して下さる方に多数ご応募いただけるよう、広く呼びかけている。

【参考】

2004年度「一日講師」開催プログラムより——「京料理『食育』／朗読とナレーション／瓦ワークショップ／京表具『裂地(きれじ)と裏打ち』／日本茶講座『煎茶・抹茶のおいしい入れ方』／そば打

▼2004年前期 一日講師プログラム「京料理」より



ち体験「年越しそばを打つ」／モザイクワークショップ「キャンドルスタンドをつくろう」

【応募方法】

左記まで経歴と志望理由を送付。参考資料あれば添付のこと。書式自由、履歴書不要。※今回の応募は2005年度(前期・後期)以降の開講分

【問合せ・応募先】

京都精華大学 文化情報課
GARDEN事務局
〒606・8588
京都市左京区岩倉木野町137
TEL:075・702・5343
FAX:075・705・4076
Eメール: garden@kyoto-seika.ac.jp

環境社会学科の学生が デフリンピックへ出場

2005年1月6日から16日にオーストラリアのメルボルンで、第20回デフリンピックが開かれる。本大会にはバスケットボールの日本女子チームの初出場が決まり、その一員に環境社会学科3年生の渡辺亜紀さんが選ばれ、出場する事になった。

デフリンピックは、CISSS(国際ろう者スポーツ委員会)の主催による、4年に1度開催される聴覚障害者のオリンピックで、夏季大会は1924年、冬季大会は1949年から開催。日本は1965年に初参加した。

渡辺さんの所属する日本代表チームのメンバーは、来年1月の出場を控え、練習を強化している。ところが一方で、ろうバスケットのための活動資金が不足しているため、



▲第20回デフリンピックに出場する、日本女子バスケットチームのメンバー

合宿費用は言うまでもなく、メルボルンへの旅費や滞在費の工面にも難航しているそうだ。現在、その一助とするため女子バスケットボールチームを支援する募金を受付けている。詳細は左記。

ご支援のお願い

第20回デフリンピック・バスケットボール日本女子の出場資金のために募金を受付けています。
【振込先】 京都銀行 下鴨支店 普通口座
3241055 ワタナベアキ

2004年度 卒業・修了制作展

今年度の芸術学部と芸術研究科による卒業・修了制作展は左記の日程で開催を予定。

第35回 京都精華大学 卒業・修了制作展'04
会期: 2005年2月2日(水)

会場: 京都市美術館 本館
(京都市左京区岡崎公園内)

岡本清一先生誕生100年 記念事業に関するお願い

京都精華大学(前身は京都精華短期大学)の初代学長、故・岡本清一氏が来年生誕100年を迎える。現在、記念事業実行委員会では岡本氏に関する資料の提供を呼びかけている。岡本清一のエピソードを彷彿させる品、著作、論文等掲載紙誌、手紙類等を譲渡、あるいは貸与可能な方はご一報を。

【問合せ・送付先】

京都精華大学 文化情報課 佐藤正幸
〒606・8588
京都市左京区岩倉木野町137
TEL:075・702・5343
FAX:075・705・4076
Eメール: satou@kyoto-seika.ac.jp

施設整備および教育研究事業充実 に関する募金についてのお願い

施設の充実、教育研究の発展にかかる経費のご寄付ご協力をお願いいたします。寄付金は一口五万円からとなっております。詳細につきましては「募金要項」をお取り寄せてください。この寄付金につきましては、文部科学省から「特定公益増進法人であることの証明書」の交付を受けていますので、所得から税金控除を受けることができます。募金に関するお問合せや募金要項のお取り寄せは、京都精華大学企画室(075-702-5201)までお願いいたします。

2005年度入学試験情報

◆人文学部・芸術学部（マンガ学科）募集定員変更のお知らせ

2005年度入試より、人文学部・芸術学部（マンガ学科）募集定員を下記のようにいたします。

●募集定員

人文学部	
学科	募集定員
社会メディア学科	175名
環境社会学科	120名
文化表現学科	155名
合計	450名

(昨年度定員) 350名

芸術学部	
学科	募集定員
造形学科	130名
デザイン学科	150名
マンガ学科	60名
合計	340名

(昨年度定員) 330名

●試験別募集定員

人文学部			
試験種別		学科	募集定員
公募制推薦		社会メディア学科	29名
		環境社会学科	22名
		文化表現学科	27名
一般1期	A方式	社会メディア学科	32名
		環境社会学科	24名
		文化表現学科	30名
	B方式	社会メディア学科	6名
		環境社会学科	4名
		文化表現学科	6名
一般2期		社会メディア学科	8名
		環境社会学科	5名
		文化表現学科	7名

芸術学部	
試験種別	募集定員
公募制推薦	160名
一般1期	84名
一般2期	27名

◆入試日程（2004年12月以降）

人文学部							
試験種別	出願期間（消印有効）	試験日（自由選択制）	合格発表	第一次手続き締切	第二次手続き締切	会場	方式
一般1期A方式	1月6日(木) ↓ 1月19日(水)	1月25日(火) 1月26日(水) 1月27日(木)※	2月3日(木)	2月21日(月)	3月4日(金)	京都精華大学、東京、大阪、広島 (※ただし、東京・大阪・広島は 25・26日のみ実施)	2科目型 3科目型 併用型
一般1期B方式	2月1日(火) ↓ 2月11日(金・祝)	2月16日(水)	2月21日(月)	3月4日(金)	3月24日(木)	京都精華大学	論文型 論文・面接型 総合型
一般2期	2月18日(金) ↓ 3月2日(水)	3月6日(日) 3月7日(月)	3月12日(土)	3月24日(木)		京都精華大学	英語型 英語・国語型 併用型

芸術学部							
試験種別	出願期間（消印有効）	分野・コース	試験日	合格発表	第一次手続き締切	第二次手続き締切	会場
一般1期	1月6日(木) ↓ 1月25日(火)	洋画、陶芸、VCD、建築、 テキスタイルデザイン、カートゥーンマンガ	2月3日(木)	2月10日(木)	2月21日(月)	3月4日(金)	京都精華大学、 東京、広島
		日本画、立体造形、版画、PCD、 映像、ストーリーマンガ	2月4日(金)				
一般2期	2月18日(金) ↓ 3月2日(水)	洋画、陶芸、VCD、建築、 テキスタイルデザイン、カートゥーンマンガ	3月6日(日)	3月12日(土)	3月24日(木)		京都精華大学
		日本画、立体造形、版画、PCD、 映像、ストーリーマンガ	3月7日(月)				

[芸術学部試験科目]

一般1期：専攻分野別実技

一般2期：学科試験（「英語」「国語」から1科目選択）、専攻分野別試験

〈問合せ先〉入試課 ☎0120-075017 nyushi@kyoto-seika.ac.jp